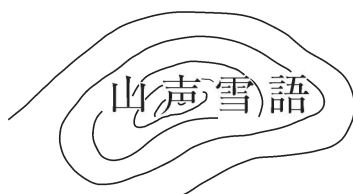


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2714回 三草山 (564.0m)	4月7日 (火) 集合 参加者で決定 AM8:00	吉田 武	京都—沓掛 IC—亀岡 IC—R372 稗田野—R477本梅—倉垣—能 勢町神山—三草山登山口—三草 山往復—能勢町神山—京都
備考 マイカーで行きます。希望者は担当者まで連絡ください。			
第2715回 岡田山 (1等△638m) 他 備後・安芸の国 1,2,3等を巡る山旅	4月25日(火)~26日(日) 集合 天神川駅 AM7:00	大槻雅弘	(25日) 京都—大原野 IC—三 次 IC—岡田山—七塚 (II △491m) —君田温泉〈森 の泉〉泊 (26日) 君田温泉—高谷山 (III △249m) —三次観光—三 次 IC (帰洛)
備考 この例会は岡田茂久氏の喜寿を祝って日本に1点しかない一等三角点の岡田山を選びました。 3山とも30分くらいの軽い山です。マイカー登山。費用 約17,000円。希望者は担当者まで連絡ください。			
第2716回 笠形山 (939m) (播州富士)	5月10日 (日) 集合 AM7:00 竹田駅西口	井戸 澄夫	京都—中国・播但道—市川南 IC—瀬加—笠形神社…笠ノ丸 …笠形山…往路下山—帰路温泉 入浴
備考 マイカーで行きます。希望者は担当者まで連絡ください。			
第2717回 尾瀬ヶ原と尾瀬沼の 旅	5月17日(日)~20日(水) 集合 参加者で決定	吉田 武	(1日目) 京都—竜王 IC—諏 訪 IC—蓼科高原—麦草峠 —佐久 IC—沼田 IC—尾瀬 戸倉温泉 (2日目) 戸倉温泉「玉城屋」—鳩待峠…中の原 (1968.8m) …富士見小屋 (昼食) …竜宮十字路…見晴十字路…原の小屋 (泊) (3日目) 原の小屋…沼尻…尾瀬沼を半周…三平峠下 (昼食) …三平峠…大 清水—(タクシー)—玉城屋—鳩待峠—坤六峠—湯の小屋温泉—宝川温 泉「汪泉閣」(泊) (4日目) 宝川温泉—水上町—一の倉沢岩壁 (見学) —水上 IC—上信越 道・長野道・中央道—京都東 IC
備考 マイカーで行きます。希望者は担当者まで連絡ください。			

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2718回 新緑観察会	5月17日(日) 集合 AM 9:00 松尾大社正面 石の鳥居前	岡田 茂久 方山 宗子	松尾大社…月読神社…唐戸越登 山口…丁塚…リョウブ尾根…桂 坂野鳥遊園 (解散 PM3時頃)
備考 降水確率50%以上の時は中止。参加費 1,000円。希望者は担当者まで連絡ください。(5月12日締め切り)			
4月の集会 日時 4月8日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)		4月の企画運営委員会 日時 4月22日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)	
5月の集会 日時 5月13日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)		5月の企画運営委員会 日時 5月20日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)	



新年度の始まり

堀 田 剛

本来、山声雪語に“お題”はいらないのだが。それはさておき、春は桜に心浮き立ち、暖かな日差しに春の到来を感じ、本来は満喫したい時だ。が、3月から本格化する花粉症の人にとっては、まだまだ憂鬱だ。とにかく目は痒くてしょうがなく、目薬をさし過ぎると眠くてしょうがなくなる。この眠気に耐えるのも強烈に辛い。鼻は痒い上に鼻水とムズムズくしゃみが止まらない。このような症状の人を見たら、花粉症で苦しんでいるのだなと同情してください。(すべて私の症状)

山行には良い季節になのだが、花粉症の辛さから気持ちが乗り切れない。マスクしての山行は全く辛い。3月初めの杉花粉に始まり、3月下旬くらいからヒノキ花粉へと移行する。私の様に杉花粉症がメインだとGWくらいには症状は治まるが、ヒノキアレルギーのある人は5月中旬くらいまで各種症状と体のだるさが続く。

3月の総会で京交山岳部の新体制が決まる。清水部長、岡本義、松田両氏の副部長と変わりなし。ちなみに、清水部長も花粉症でこの時期苦しんでいる。

新体制は地方政治の世界も同様で、4月12日(日)に統一地方選挙がある。定数削減での実施。知事選や市長選のある地方もあり、人事異動後の新年度とばかり言っていない所もある。大阪は都構想の住民投票に突入しそう。

世情は混沌としている。が京交山岳部は縮小しつつも今年度も健在である。

【第2711回例会報告】

雪の北山を歩く 皆子山 (3等△971.5)

井戸 澄夫

皆子山に平の集落から登るのに、寺谷や皆子谷を詰める従来のコースとは別に、皆子山の東尾根を直登するルートが出来ていることを聞いたので、例会とした。昨年は大槻氏担当の例会であったが、天候が悪く中止になっている。今回も2月8日に予定していたが、悪天候となったため、天気予報で好天が予想される15日に延期した。この時期は目まぐるしく天気に変化し、時として豪雪となる。幸いにして15日は曇り空ではあったが、風も弱く比較的暖かかった。雪も新雪は少なく、麓で30cmほど、山頂で1mほどの積雪であったがよく締まっており、冬の山としては快適な登山が出来た。同行した岡本義弘氏は冬山の経験が豊富で頼りになる人である。昨年3月の越前経ヶ岳登山でもたいへんお世話になった。

平の集落で登山準備していたら、一人の若者がスノーシューを着けて土手を歩いてきた。我々と同じコースを登るつもりだが、道に迷ったらしい。どうやら寺谷への道を行っただけらしい。彼の持つエリアマップには皆子山の東尾根登山道が記載されていた。小生の古い地図には載っていない。一緒に登山の起点となる寺まで行くと、既に先行するパーティーの踏み跡が付いていた。小生はワカンで、岡本氏はつば足で登り始める。雪はよく締まり、踏み跡も多く、つば足で十分登れそうである。曇り空ではあるが、雲の合間に青い空が見える。風もほとんどなく快調な登りである。麓で会った若者はスノーシューでさっさと追い抜いていった。登山口(標高450m)から837mピークまでは急登である。一帯は北山杉の樹林帯である。837mピークからは緩やかな尾根歩きとなる。途中、既に登頂した下山者10名ほどとすれちがった。小ピークを3箇所ほど過ぎると皆子山山頂である。積雪は1mほどか、山名標識がかるうじて頭をだしている。山頂は西北風がかなりきついので、証拠写真を撮ってから少し下って、風の弱い場所で昼食とした。下りは雪が緩んできたかして、ワカンを履いていても急斜面で足元が滑りがちであったが、登ってきた道を無事下山した。

帰路、花折峠下の車道を大原へ向け歩いている若者に追いついた。平で会ったスノーシューの若者である。滋賀県の人で、堅田行きのバスまでかなり時間があるので、大原まで歩くつもりだったらしい。方向が同じなので、京都駅まで送ってあげた。年齢は26歳で社会人で独身である。山岳団体には所属していないが、インターネットで知り合った山好きの集団に入っているらしい。インターネットで山行計画を知らせ合って、行きたい人が集まって登るらしい。さすがに冬山は人が集まらないそうである。大阪で定期的に集まって酒を飲むらしいが、その時は30～40人くらい集まるそうである。



IT時代の若者達はこのように山登りをするのだと知って、目から鱗が落ちた思いである。もっとも一杯飲みの時にはたくさん集まるといのは、わが山岳部も一緒だなと思う次第である。

[コースタイム] 2015年2月15日(日)

8:30竹田駅西口—大原—花折峠—9:40平10:00…12:20皆子山山頂(三等971.5m)(昼食)12:50…14:30平14:50—16:00京都駅 解散

[参加者] 岡本義弘, 井戸澄夫(計2名)

【個人山行 2015年2月23日(月)】

低山ハイクシリーズ 多紀連峰「**小金ヶ嶽** 独 標 725.0m」
「**御 嶽** 1等三角点 793.2m」

吉 田 武

冬の間は家の中から出にくく、山もゴルフも行く気がなかったが、少しストレスがたまっているようなので、今日は思い切って山に行こうと思って家を出る。

残雪の低山をと思い9号線から372号を走り天引峠を越えて、篠山市の畑川沿いを北上して大札(ゆうれい峠)に駐車して、小金ヶ嶽と御嶽の両山を往復した。小金ヶ嶽はあまり登った記憶がないのでまずはこの山から登る。頂上まで1.3kmの標識を横に見て植林の中を登る、30分程登ると最初のピーク660m位であろう、そこからがしんどかった。岩稜帯でクサリ場や足場の悪いコースが続き顕著なピークを2か所巻いたら頂上が見えた。今回ほど高齢になってバランスが取れにくくなったことを実感したことはなかった。意識してクサリに頼らず登ろうと思ったが、バランスを崩してしまう…

頂上には大きな地図版があったが今日の天気では初登山の櫃ヶ岳も見えなかった。岩稜帯を注意深く下って大札に戻り御嶽に向かった。頂上まで1.2kmの看板に背中を押されて2山目、記録では1980年7月12日と1981年5月17日に登っている、81年の時は単独で30分位で登った記憶があるが、今日は50分かかった。コースは登りばかりでしんどいが、歩きやすく快適に登ったつもりである。往路を下山して、帰りに湯の花温泉「烟河」の風呂に入って帰った。

なお、両山の鞍部は地元では「おおたわ」呼ばれているが、僕が最初に登った時は「ゆうれい峠」と文献に書かれていました。単独行



例会報告

例会 No	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2711	雪の北山を歩く 皆子山(3等△971.5)	晴	2月8日(日)	井戸 澄夫	岡本 義弘	別稿詳報
2712	野鳥観察会 (京都御苑)		2月22日(日)	岡田 茂久		京交山岳部例会としては中止しました。

雑 報

△△△ 3月の集会（総会）

平成26年度 京交山岳部 総会報告（次号報告）

△△△ 2月の企画運営委員会

日 時 2月20日（金）18：30～

場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）

出席者 堀田、吉田、清水

内 容 例会予告、岳連関係報告、総会打合せ ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

3月号 京都山岳、趣味の登山、青嶺、比良山岳、木雞、わっば

2014年報 跋^{ぼっしょうふ}渉譜（大阪低山跋涉会）

△△△ 部報発送担当者からのお知らせ

職場の異動に伴い、部報の発送先、発送方法に変更がある場合は、必ず部報発送担当者（松田： ）まで連絡してください。

△△△ 平成26年度部費受領について

平成27年3月11日現在、先月号までに報告しました方々に加え、次の方から既に平成26年度部費を受領していますので報告します。

（敬称略）田村正弘

△△△ 平成27年度部費受領について

平成27年3月11日現在、次の方から既に平成27年度部費を受領していますので報告します。

（敬称略）井戸澄夫、木原滋、堀田剛